

レコライ・ミニ・ショップ

《 演奏家特集 》

ルドルフ・ケンペ

発行日:2026年2月10日

1960年から63年までの4年間、バイロイトで『指輪』を振ったことはケンペの輝かしい経歴であり、録音では「R.シュトラウスの管弦楽曲集」が頂点だろう。だが、私は彼の振った二つのレクイエム、モーツアルトとブラームスの「ドイツ・レクイエム」に魅力を感じる。彼の演奏のすべてに渡って言えるのはドイツ魂に貫かれていることだ。ケンペはカイルベルトに似る。叱責されるかもしれないが、ともに無骨なところが良い。シリヒトやクナッパーツブッシュはまだ洗練されている。穏やかだが内に秘めた途方もない強さが大曲を壮大でなく内面から抉って聴かせてくれる。(山田)

注文番号：1679

J.シュトラウス2世:ウィーンの森の物語、浮気心、千夜一夜紋語りより、クラップフェンの森にて、皇帝円舞曲／ヨーゼフ・シュトラウス:ディナミーデン／ウィーン・フィル／ケンペ／独／エレクトローラ／1C027-01464／切手ラベル／ステレオ／1959録音／再発／英 EMI オリジナルはシルクハット・ジャケで有名な“ウィーンのボンボン”。ウィーンの優雅さとは一風違った歯切れのよい心操られるような雰囲気の演奏。

G／1650円



注文番号：1676

コルンゴルト／交響曲嬰へ長調 op.40／ミュンヘン・フィル／ケンペ／米／RCA／ARL1-0443／ノードッグ・ラベル／ステレオ／1972年録音／ハリウッドで映画音楽も作っていたコルンゴルトの標題樂的な作品。R.シュトラウスの影響を受けただけに後期ロマン派の影が宿り、拡張されたオーケストラだが、メロディックであり聴き易い。強弱の幅の大きさと鋭く大胆な打楽器演奏が現代性を感じさせる。

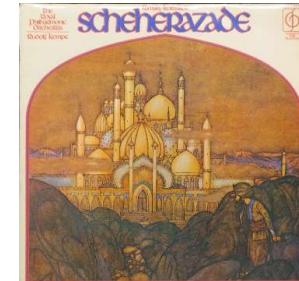
G／1650円



注文番号：1680

R=コルサコフ／シェエラザード／A.ラヴディイ(vn)、ロイヤル・フィル／ケンペ／英／EMI／CFP174／白黒ラベル／ステレオ／1966録音／再発／最初は英ワールド・レコードで発売された、F.デッカー技師による名録音／当時ケンペは故ビーチャムの跡を受けてロイヤル・フィルの芸術監督。ラヴディイはロイヤル・フィルおよびアカデミー室内管のコンサート・マスター。分厚い響きで音の絵巻が鳴り渡る、胸の空く名演奏。

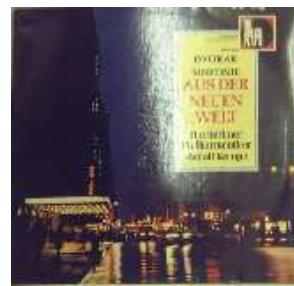
G／2200円



注文番号：1677

ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」／ベルリン・フィル／ケンペ／独／エレクトローラ／SMVP8015／VOLKS ロゴ・ラベル／ステレオ／1957録音／再発／ステレオ初期の名盤であり、同時期のVPO&クーベリック(デッカ)と人気を分け合ったレコード。手綱を締めているが窮屈な感じは全くなく、細やかな動きの見事さは流石ベルリン・フィル。指揮者との呼吸が見事に合った躍動的な新世界が聴かれる。

G／2200円



注文番号：1681

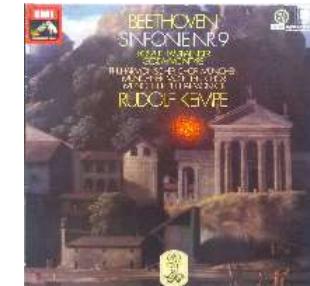
『ウィーンの一夜』／スッペ:ウィーンの朝・昼・晩／ホイベルガー:オペラ舞踏会／J.シュトラウス2世:こうもり序曲／レハール:金と銀／レズニチェック:ドンナ・ディアナ序曲／ヨーゼフ・シュトラウス:天体の音楽／ウィーン・フィル／ケンペ／英／EMI／ASD279／ホワイト・ゴールド・ラベル／ステレオ／1958録音／初期 ASD に2枚あるケンペのワルツ集の一枚／ケンペのユーモアあふれる名盤。“お宝”ですがパチパチ・ノイズ有り。 P／27500円



注文番号：1678

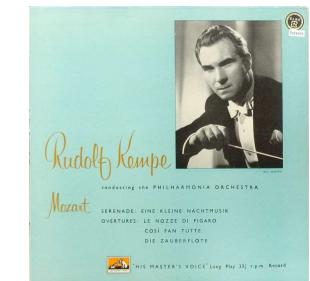
ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱付き」／コシュート(S)、ファスベンダー(A)、ゲッダ(T)、マッキンタイア(B)、ミュンヘン・フィル、同合唱団／ケンペ／独／エレクトローラ／1C125-02761-2／切手ラベル／ステレオ／2枚組／1973録音／クアドラフォニック盤／初出 BOX のバラ初出(2枚目は片面盤)／ケンペ唯一の第九の正規録音。音楽の流れが良く、ソロや合唱の歌わせ方が極めて自然である。オペラ指揮者としての貴祿か。

G／3300円



注文番号：1682

モーツアルト／アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク、フィガロの結婚序曲、コジ・ファン・トウツテ序曲、魔笛序曲／フィルハーモニア管／ケンペ／英／EMI／BLP1088／初期セミ・サークル・ラベル／モノラル／10インチ／1955録音／入手困難／元々この10インチで発売された／アイネ・クライネを除いてい何れもケンペ唯一の録音である。イギリスのオーケストラからドイツの響きを引き出している。チエロの響きなどに重みを感じます。 G／11000円



注文番号：1683

ワーグナー／ローエングリン第1・3幕への前奏曲、パルジファルより前奏曲と聖金曜日の音楽、トリスタンとイゾルデよりイゾルデの死／ウィーン・フィル／ケンペ／仏／パテ／TRI33184／レッド・ラベル／擬似ステレオ／1958録音／再発トリアノン・シリーズ／ケンペはウィーン・フィルの美しさを思い切り前面に押し出しており、天国的気分を味わえる。派手なワーグナー演奏の多い中で出色の一枚である。

G／1650円



注文番号：1687

スマタナ／売られた花嫁[ドイツ語版]／ローレンガー(S)、ヴァンダーリヒ(T)、フリック(B)、バンベルク響、ベルリン・リアス室内合唱団／ケンペ／独／エレクトローラ／1C153-28922／黒切手レッド・ラベル／ステレオ／2枚組／1962年録音／オーケストラのエネルギーが飛び散るケンペの勢いある名演奏。何よりもフリックのブッファが聴き物。ローレンガーの起用も成功している。ドイツ語歌唱は一向に気にならない。

G／5500円



注文番号：1684

R.シュトラウス／ドン・キホーテ、ティル・オイレン・シュピーゲル／トルトゥリエ(vc)、カッポーネ(va)、ベルリン・フィル／ケンペ／米／キャピトル／SG7190／サイド・ロゴ・レインボーラベル／ステレオ／1958録音／米初出／ケンペの初期ステレオ盤は“お宝”が多い。これも原盤はそうだ。R.シュトラウス演奏の頂点にあるケンペによる色彩豊かな演奏。ベルリン・フィルの名手たちの伸び伸びとした演奏は中々聴かれない。

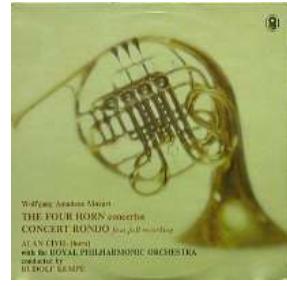
G／4400円



注文番号：1685

モーツアルト／ホルン協奏曲全集／A.シヴィル(hr)、ロイヤル・フィル／ケンペ／英／ワールド・レコード／ST628／グリーン・ストロボ・ラベル／ステレオ／1966年録音／コンチェルト・ロンド K.371 の初録音も含む／ブレインの父オーブリーに学びロイヤル・フィルの首席でもあるシヴィルが幾度となく録音に臨んだ名曲。膨らみのあるホルンの響きはケンプのやや重みのある伴奏によってドイツ古典派の響きを再現している。

G／1650円



注文番号：1686

モーツアルト／レクイエム／グリュンマー(S)、ヘフゲン(A)、クレブス(T)、フリック(B)、ベルリン・フィル、同聖ヘドヴィヒ大聖堂合唱団／ケンペ／独／エレクトローラ／1C047-00128／五線ロゴ・ラベル／モノラル／1955年録音／ダ・カーポ・シリーズ合唱指揮は名匠フォルスター／これほど深みのあるモーツアルトのレクイエムは無い。フレーズの終わりが若干引き延ばされたラクリモーサの表現は否応なく胸に突き刺さる。

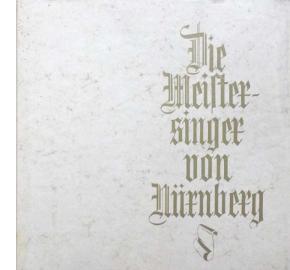
G／2200円



注文番号：1688

ワーグナー／ニュルンベルクのマイスターインガー／グリュンマー(S)、ショック(T)、クツシェ(B)、F.フランツ(B)、ベルリン・フィル、ベルリン国立歌劇場合唱団／ケンペ／独／エレクトローラ／WALP519／初期セミ・サークル・ラベル／モノラル／フラット厚手プレス／5枚組／1956年録音／モノラル期では5年前に録音されたクナッパツブッシュ盤と並ぶ名盤。46歳のケンペの情熱が弾け飛ぶ。歌手たちも適材適所だ。

P+／33000円



注文番号：1689

ワーグナー／ラインの黄金／ビヨーナー(S)、テッパー(Ms)、ステュアート(T)、ウーデ(Br)、バイロイト祝祭管・合唱団／ケンペ／伊／メロドラマ／MEL606／クリーム・ラベル／モノラル／3枚組／1960年バイロイト実況録音／ケンペはこの年からクナッパツブッシュに代わって「バイロイト・リング」を振った。60年の舞台はリング全曲がメロドラマより発売、これはその一部、放送音源のため音質は大変良い。

G／8250円



注文番号：1690

ワーグナー／ローエングリン／グリュンマー(S)、ルートヴィヒ(Ms)、トーマス(T)、F=ディースカウ(Br)、フリック(B)、ウィーン・フィル・同国立歌劇場合唱団／ケンペ／独／エレクトローラ／STA91299／切手ゴールド・ラベル／ステレオ／布ケース／5枚組／1962-63年録音／未だに同曲のベスト盤。である。ルートヴィヒと F=ディースカウが不慣れな悪役に徹しようと努力する様も面白い。当時のケンペは最高のワーグナー指揮者だった。G／11000円

